

中部スポーツ賞

中部運動記者クラブは8日、本年度の中部スポーツ賞の正賞に、ラグビーのワールドカップ（W杯）イングランド大会で日本代表の快進撃の原動力となったヤマハ発動機のF B五郎丸歩（29）を選出した。特別賞

は、来年のリオデジャネイロ五輪で卓球団体の代表候補に決まった愛工大の吉村真晴（22）。奨励賞にはフィギュアスケートの世界ジュニア選手権を制し、シニアでも活躍して10日開幕のグランプリ（GP）ファイナルに初出場する愛知・中京大中京高の宇野昌磨（17）が選ばれた。

名古屋市内で行われた表彰式には吉村が参加し、五輪イヤーに向けてさらなる飛躍を誓った。

愛工大

卓球世界ランク100番台から21位 飛躍の1年

天才東京輝く

吉村 特別賞



世界選手権混合ダブルス38年ぶり銀

トップで成賞

成長著しい卓球界のホープ吉村が、記念のトロフィーを手に笑顔をみせた。

「非常にうれしく思っています。多くの人に支えてもらって今の自分がある。その期待に応えることができたのがこの一年だった。今後さらなる飛躍を目指し、少しずつ成長していきたい。」

年々の銀メダルを獲得し、ワールドツアーで優勝した。6月に神戸市であったジャパン・オープンでは日本人で唯一最終日まで勝ち残り、シングルスでも世界に通用することを示した。

大学入学当初の目標は、トップ50入りだった。1年間、新たなステップ、新たなプレースタイル見いだすことができたので、来年のリオに向けて、日々の練習に励んでいきたいと語る。

最大の目標に掲げるのが2020年の東京五輪。5年後までにトップ10入りを目指し、団体だけでなく、シングルスにも参加して、メダルを取

特別賞を受賞し、笑顔を見せる愛工大の吉村真晴。名古屋市内のホテルで（野村和宏撮影）

（福沼和義）